

夢に向かって新たな門出 414人が新成人

平成26年成人式が1月12日、市民ふれあいセンターで開催されました。

式典では、新成人414人にお祝いや激励の言葉が贈られた後、新成人代表が意見発表。式典が終わった会場では、色鮮やかな着物やはかま、真新しいスーツに身を包んだ新成人が、久しぶりに集まった友人とお互いの近況報告や写真を撮るなど、再会を喜び合っていました。



謝辞を述べる千電友子さん（八二中）

成人代表意見発表



湯浅拓也さん
（八二中）

私の夢は、「教師になる」ことです。この夢を持つきっかけとなったのは、中学校時代の恩師です。今、私は恩師の母校の大学で、昨年の春から教職課程を取り、自分の夢の実現に向けての第一歩を踏み出したところです。まだまだ、自分の理想には遠いですが、将来必ず、立派な教師、そして立派な大人になりたいと思います。



鈴木陽平さん
（八二中）

私は生き物や自然が好きで、科学者になって、研究をする事が夢でした。高校生になり、看護師の母と姉の影響もあり、医療関係の仕事が思い浮かび、薬に携わる仕事に就こうと決め、大学で薬学を勉強しています。将来は生命を救う新薬の研究開発に携わり、世界中の人々に役立つ薬を提供できるようにしたいと思います。



小川史緒梨さん
（野栄中）

私は、将来の夢である国語科の教員になるために大学に通い、日本文学を専攻しています。高校時代の恩師の後押しがあった事で、教育学科ではなく、日本文学を専攻しながら教員を目指すことになりました。社会人になるまでの2年間でさらに多くの事を学び、私がこれまで受けてきた支えを、社会に還元できたらと思います。

社交ダンスの披露



晴れやかに年初めを飾る 寿大学新春発表会

八日市場公民館で1月17日、寿大学新春発表会が開催されました。

これは、公民館で開催されている同大学の生きがい講座を学んだ受講生がこれまでの練習の成果を発表するものです。舞台に登場した受講生が詩吟や民謡・歌謡、舞踊などを披露すると、会場に集まった受講生や友人、講座の指導者から多くの拍手が送られました。



各国の料理に舌鼓

各国からのおもてなし 国際交流新春パーティー

市民ふれあいセンターで1月18日、国際交流新春パーティーが開かれ、市内在住の外国人など7か国約90人が参加しました。

これは、市国際交流協会の主催で毎年行われているもので、当日は参加者各国の料理が振る舞われ、ステージではタイの踊りやよさこいソーラン、S☆cuteや九十九里ホームのお笑いアイドルユニット「つくも99スペシャル」の歌が披露されるなど、大きな盛り上がりを見せました。

地域の伝統行事

1/1 八重垣神社の歳旦祭

良い年でありますように



中央地区の八重垣神社で、歳旦祭が行われました。これは、元日の午前0時から開始される新春の行事で、祇園祭の年番町が式典を行うものです。新年を迎えたばかりの深夜の神社には、多くの市民が初詣に訪れました。

1/5 稲荷神社の綱掛け神事

大注連縄を結い上げる



匠瑳地区山桑の稲荷神社で、綱掛け神事が行われました。これは、秋に収穫した稲わらを使い、大蛇をかたどった大注連縄を結い上げ、神社正面につるし、家内安全・無病息災を祈願するものです。

1/7 六社大神の御歩射

野田地区野手の六社大神で、御歩射が行われました。御的式では、境内に作られた的に向けて、神主と祭礼年番地区の祭典委員長が交互に矢を射り、今年1年の五穀豊穡・商売繁盛を祈願しました。



矢は的に的中

1/8 栢田の仁組獅子舞

栄地区栢田で、仁組獅子舞が行われました。これは、獅子が病疫や災いを噛み砕き、無病息災・家内安全を祈願するもので、訪問を受けた家庭では、獅子に体を噛んでもらい、今年1年の健康を願いました。



病気なく成長を祈願して

1/12 小高の裸参り

豪快に冷水をかぶる男たち



飯高地区小高で、裸参りが行われました。22時30分ごろ、妙長寺の門前に約50人の下帯姿の男たちが集まり、手おけで冷水を頭からかぶり身を清め、八坂神社へ向かい、無病息災・五穀豊穡を祈願しました。

1/13 金原の大篝御的の神事

願を掛けた炎は天高く



飯高地区金原の三社大神で大篝御的の神事が行われました。境内に組んだ高さ約6m周囲15mの大篝に火を入れると、勢いよく燃え上がり青竹が大きく弾け、集まった地区の人は今年の無病息災を願いました。

1/15 松山神社の筒粥神事

匠瑳地区松山の松山神社で、約350年も前から続く筒粥神事が行われました。これは、青竹と粥を鍋で一緒に煮込み、その粥の入り具合で1年の吉兆を占うものです。結果はまずまずで、ネギ、人参が良いとのこと。



粥の入り具合を確認

1/15 稲生神社のひげなで三杯

野田地区今泉の稲生神社で、ひげなで三杯が行われました。氏が東西に分かれて酒を競って飲むもので、ひげをなでると次々に酒を飲む習わしです。酒豪たちは、椀の酒を飲み干し、五穀豊穡、家内安全を祈願しました。



さあ、もう1杯